



オオジシギってどんな鳥？

名前

和名： オオジシギ
学名 *Gallinago hardwickii*
英名 Latham's Snipe

バリバリと音をたてて、飛ぶ姿から「カミナリシギ」とも呼ばれています

体

全長：約30cm
体重：オス メス
羽色：雌雄同色

ハトより少し小さいくらい
長いクチバシを柔らかい地面に刺し、土の中の小さな生き物を探して食べます



分類

チドリ目シギ科タシギ属

日本で見られるタシギの仲間は5種。そのうち日本で繁殖するのはオオジシギだけです



生息環境

繁殖期は草地・荒地・畑地など
越冬期は湿地や海岸など

分布

北海道とサハリン南部、本州の一部で繁殖し、オーストラリア東部からタスマニア島で越冬する渡り鳥

4月ごろに日本に渡ってきて、繁殖する夏鳥。繁殖地の中心は北海道。

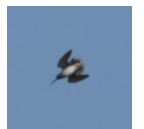
渡りの時期は日本各地で見られます



ディスプレイ

ジッジッジと鳴きながら草地の上を巡回し、ズビャークズビャークと鳴いて、バリバリと尾羽で音をたてて急降下する独特の求愛行動を見せます

オオジシギのディスプレイはこちらから



現状

本州の個体数減少から、準絶滅危惧種*に指定されています。北海道でも数が減ったと言われてはいますが、詳細はわかっていません。

越冬地のオーストラリアでも、湿地の開発などで数が減ったという報告があります

日本野鳥の会では2016年から保護調査プロジェクトを開始し、渡りのルートや生息状況の調査をおこなっています。